

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら 二俣川教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 7日		2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59名	(回答者数) 45名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 13日		2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・集団活動と個人活動の両立	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容に偏りがないように担当職員に振り分けて活動を企てている ・スキルに合わせた課題を前日に検討して用意している ・全体を見る職員と個人を見る職員の担当を分けて危険回避ができるよう動いている 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率が良くなるようにマニュアルやフォーマットを作成してみる ・活動内容が難しいものでも、職員が個別で付き添い取り組めるような配慮をする
2	・HUGでの保護者対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの連絡が来た際は、随時確認し対応できるよう配慮している ・電話での連絡が取りにくい場合、HUGのチャット機能を使用して保護者がいつでも確認できるようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者側のHUGアプリの使用率を上げてお互いに連絡を取りやすい環境を作っていく(現在、約3割がWEBでHUGを使用している)
3	・年に2回の保護者会の開催が定着してきている	<ul style="list-style-type: none"> ・開催曜日が固定されないように計画している ・参加者のニーズに合わせて座席を配置している 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会は懇談の場として提供し、別で勉強会のような支援内容に関わる集まりを開催してみる

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外部交流のイベントが無い	<ul style="list-style-type: none"> ・療育現場の活動時間が限られている為、大きなイベントを開催する時間の余裕がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の存在を地域で広めて認知度を上げていく ・パンフレットの配布など、小さい関りから作っていく
2	・外出の活動が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮の必要な児童が数名いる場合、職員数に余裕がないと外出するのは難しい時がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に外出を計画し、活動内容に合わせて職員配置を考える ・職員配置に余裕がある際は、外出案を出して企画する
3			